



モノづくり 体感スタジアム

「モノづくり体感スタジアム2026」

**モノづくり日本会議 会員企業向け
出展のご案内**

科学技術館

2026年 8月 8日（土）～ 9日（日）



モノづくり日本会議

 日刊工業新聞社



開催にあたり

モノづくり日本会議では、日刊工業新聞社との共催で、夏休み期間中に「モノづくり体感スタジアム」を実施しています。

今回は、「モノづくり体感スタジアム2026」として、8月8日（土）～9日（日）の2日間、科学技術館（東京都千代田区）にて開催します。

「モノづくり体感スタジアム」は、モノづくり日本会議の会員企業がモノづくりや理科、科学の楽しさを子どもたちに伝えることを目的とした体験型のイベントです。会期中、出展企業各社のワークショップなどを通して、次世代を担う子どもたちにモノづくりの魅力や楽しさを体験していただきます。

みなさまにおかれましては、社会貢献や企業情報の発信、また情報収集や人材交流など、さまざまな観点から、この機会を大いにご活用いただければ幸いです。

みなさまのご出展を心よりお待ちしております。



開催概要

- 名 称：モノづくり体感スタジアム2026
- 主 催：モノづくり日本会議、日刊工業新聞社
- 会 場：科学技術館 展示・イベントホール
（東京都千代田区北の丸公園2-1）
- 会 期：2026年8月8日（土）～9日（日） 各日10時～17時
- 入場料：無料（事前予約制、一部当日受付可）



出展対象

- 出展者：モノづくり日本会議会員企業（一般会員以上）ならびに協力団体など
※原則として、2日間出展可能企業を優先とします。
- 出展内容：モノづくりや理科、科学などを楽しく学べるワークショップ

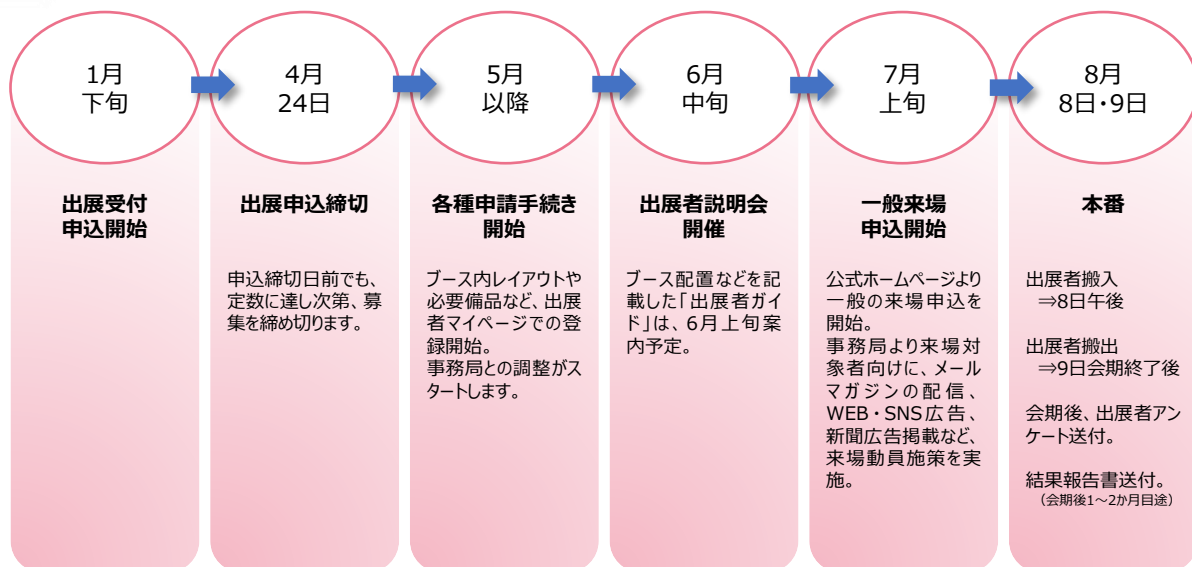


出展要項

- 出展料：**無料**
 ※モノづくり日本会議 一般会員以上の会員に限る
 ※会員企業以外の企業・団体の場合は、**550,000円（税込）** ※空き枠がある場合に限る
- 出展申込締切：**2026年4月24日（金）**
- 会 場：科学技術館 展示・イベントホール 2～10号館
- 会 期：2026年8月8日（土）～9日（日） 各日10時～17時
 ※搬入日：8月7日（金）午後、搬出日：8月9日（日）会期終了後
- 募集数：19社（団体）
 ※申込締切日前でも、定数に達し次第、募集を締め切ります。
- 基本設備：
 - ▶ブースサインボード（社名ロゴ入り）
 - ▶テーブル、イス（希望数）
 - ▶電気設備 ※一口で1.0kw以上必要な場合は、事務局にお問合せください
 - ▶ハンズフリー拡声器
 ※マイクの使用を希望される場合は事務局指定のハンズフリー拡声器を貸し出します
 （周囲のブース運営への影響を鑑み、音響機材の持ち込みはご遠慮ください）
 - ※火気の使用、床面工事などはできません。
 ※ご希望により上記以外の備品も手配します（有料）。詳細は事務局にお問い合わせください。
- 出展スペース：
 - ▶ワークショップの配置は、出展内容、申込時のご希望をもとに、事務局にて割り振らせていただきます。
 ※ワークショップ申請時にブースサイズのご希望をお伺いします。
 （ブースサイズ：①50～55㎡ ②60～69㎡ ③70～79㎡ ④80～85㎡）
 ※配置を決めるにあたり、大まかなワークショップの内容やスケジュールもお伺いします。
 - ▶状況により、ワークショップ定員などをご調整いただく可能性がございますので、あらかじめご了承ください。
 - ▶配置は、6月上旬に送付予定の出展ガイドにてご案内します。
- その他：
 - ▶出展者説明会は、6月中旬～下旬に実施予定（日程、実施方法は別途ご連絡します）



開催までのスケジュール ※変更になる場合があります。





出展規定

1. 出展スペースの決定、譲渡等の禁止

1. 出展ブース（位置、サイズ）は、申込時の希望をもとに出展内容・会場構成などを総合的に勘案し、事務局で割り当て、出展者ガイドにてご案内します。
2. 割り当てられた出展スペースの一部または全部を事務局の承認なしに譲渡または貸与することはできません。また、転貸、担保に供することを禁止します。

2. 出展物の管理保全

1. 事務局は、管理者として注意を払って会場全般の管理にあたります。ただし、各出展物の管理は、出展者が自己の責任と費用にて行ってください。
2. 事務局は、出展物の盗難、紛失、火災、その他天災地変などを起因とする出展物の損害に対して、一切の補償責任を負いません。

3. 保険

1. 事務局では、会期中の事故などに際しての傷害保険、賠償責任保険に加入します。
2. その他、会場への出展物の搬入開始から撤去までの期間、必要と思われるものについての損害保険については、各出展者で加入していただきます（任意）。

4. 危険物等の持ち込み

1. 引火性・爆発性の危険物の持ち込みを禁止します。通常所轄消防署の承認を得れば持ち込める消防法に定められる危険物についても、持ち込むことはできません。
2. 事務局の承認を得られなかったもの、関連法令に接触する恐れのあるもの、および公序良俗に反する物の持ち込みを禁止します。

5. 実演上の注意・事故防止

1. 出展物の実演は自由ですが、はなはだしい音響・発煙・発光・臭気を伴うもの、または危険を伴う実演は中止していただくことがあります。
2. 出展者は、搬入出、展示、実演にあたり、最善の注意を払い事故防止に努めてください。また、出展者は万全の処置を講じ、責任者の常駐をお願いします。事務局自らの責めに帰すべき場合を除き、発生した事故につき一切の責任を負いません。

6. 原状回復

1. 出展者は、本イベントの会期終了後、所定の搬出期間を経て出展スペースを明け渡された時の状態に回復しなければなりません。ただし、出展者が回復工事を行わない場合は、事務局において同工事を行い、その費用は出展者が負担するものとします。
2. 出展者が出展スペースの明け渡し後、出展物の残物がある場合、事務局により当該の出展者へ連絡した後、残物を処分できることとします。また、その処分にかかる費用については、当該の出展者が負担するものとします。

7. 各種工事の諸経費の負担

1. 全出展者に対し、電力1kwまでは無料で提供します（「出展要項」参照）。それ以上の電力を使用する場合の幹線工事および使用料は出展者の負担となります。出展内容や使用備品をヒアリングし、事務局にて想定使用電力数を算出した結果、規定を超える場合には、申込方法や料金規定などの詳細を別途事務局よりご連絡します。
2. スペース内で給排水・エアー・ガスなどは使用できません。その他、実演などで特殊な工事を必要とされる出展者は、事前に事務局にお申し出ください。

8. 立ち入り点検

1. 事務局およびイベントの警備・防災担当協力は、防火、防災対応のため必要と認められた際は、出展者の了解のうえ、スペース内を点検することができます。
2. 搬入時および会期中、事務局は、防火・防災担当の管轄の行政指導によりスペース内を点検します。出展者が点検時に行政指導を受けた場合は、速やかにその指導に従うこととします。

9. イベント開催の延期・中止について

1. 主催者は天災などの不可抗力により、イベント開催が困難と判断した場合、イベントの開催を延期または中止することがあります。また、その際に生じた損害について主催者は責任を負わないものとします。

10. 個人情報の利用について

1. 個人情報保護法に基づき、本イベントにおいて何らかの形で取得した参加者の個人情報は、自社内のみでの使用とし、他社への流用・転売を禁止します。
2. 個人情報の利用に際して、利用目的を明確に告知し、提供者（個人）の利用意思を確認する手段を講じなければなりません。また、収集した個人情報の提供者より、情報提供や連絡について提供者が拒否した場合、削除および消去、抹消の意思表示があった場合、その個人データの利用を即刻取り止め、しかるべき措置を取らなければなりません。
3. 事務局では、各種申込書などに記載された個人情報について、出展者との連絡、出展者にお申込みいただいたサービス手配のための手続きに必要な範囲内で利用します。



会場全体図 (科学技術館)

SCIENCE MUSEUM Floor Guide

エレベーター EV

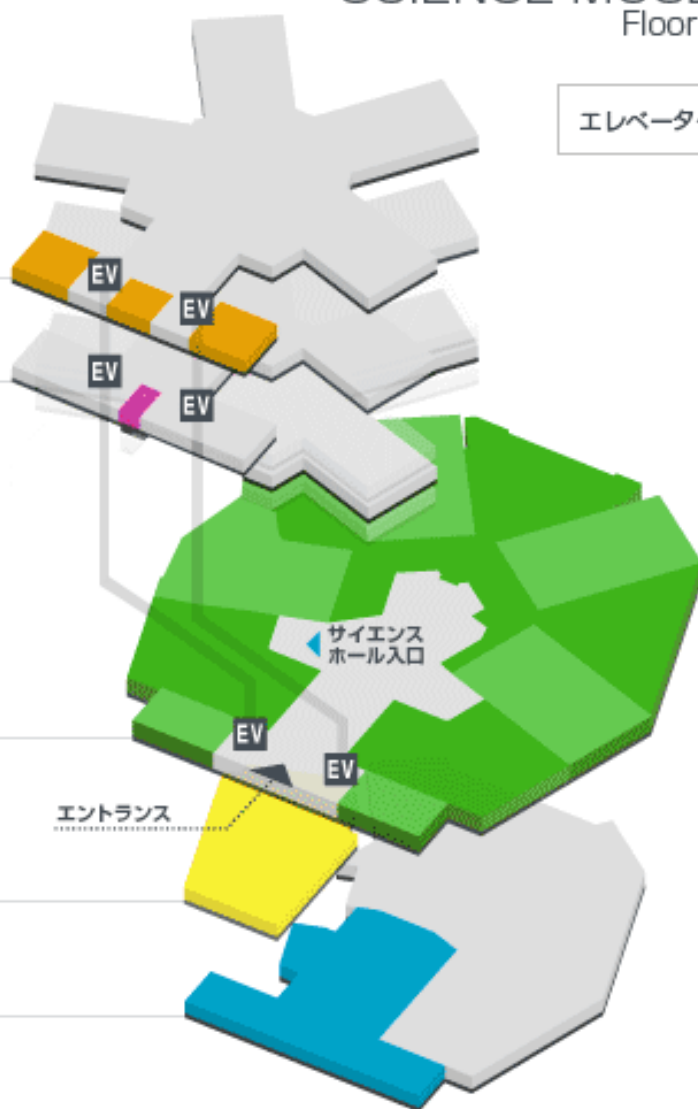
6F
第1～第3会議室

5F
第4会議室

1F
展示・イベントホール

B1F
レストラン

B2F
サイエンスホール





会場へのアクセス方法

科学技術館

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2-1



【アクセス方法】

■東京メトロ東西線

- ・竹橋駅より 徒歩7分

竹橋駅1b出口から、目の前の竹橋交差点を渡り、代官町通りを直進すると右手に国立公文書館が見えてきます。国立公文書館を過ぎ、首都高出口の横断歩道を渡った後、右に曲がってまっすぐ進むと右手に科学技術館があります。

■東京メトロ東西線・半蔵門線/都営新宿線

- ・九段下駅より 徒歩9分

田安門ルート(750m)

九段下駅2番出口から、九段坂を上っていくと左手に公園入口が見えてきます。

公園入口を入り田安門をくぐるとその先が北の丸公園です。

道沿いに進むと、左手に科学技術館があります。

清水門ルート(650m：注意 急勾配な石段あり)

九段下駅4番出口から、九段下交番を右に曲がり、内堀通りを竹橋方面に進みます。

右手に九段坂病院や千代田会館が見えてきますので、そのまま少し直進すると右手に清水門へ続く道が見えてきます。右折して清水門をくぐり、石段を登ります。

石段を登ったらすぐ右手の階段を上り、少し直進したら左に曲がってまっすぐ進むと左手に科学技術館があります。



出展のお申し込み・お問い合わせ先

「モノづくり体感スタジアム2026」への出展申込は、公式ホームページより行っています。

下記URL、もしくは右記二次元バーコードにアクセスし、手続きを行ってください。

URL : www.mono-stu.jp/



■ 初めて出展する場合 :

手順① メールでのお申込み

出展者名、担当者名、連絡先を明記し、件名を「モノづくり体感スタジアム2026出展申込」とし、事務局までメールをお送りください（送付先は下記に記載）。

追って、登録方法などを事務局よりご連絡します。

※初めて出展される場合は、メールにてご連絡ください。

手順② 出展者マイページからお申込み

出展者マイページにて新規出展者登録後、申込を行ってください。

■ 2回目以降の出展の場合（2025年に出席実績がある場合） :

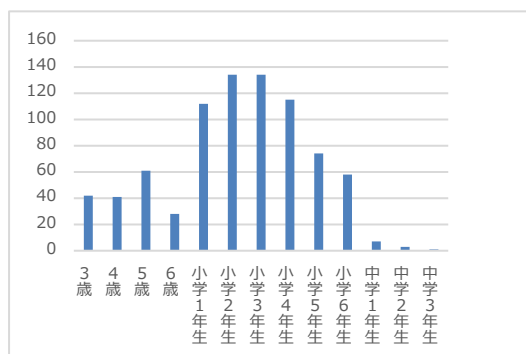
「出展者マイページ」にログインし、ワークショップ出展の手続きを行ってください。

出展者マイページ : https://mono-stu.jp/e_login/login.php

■ 申込時に登録いただく内容（抜粋）

- ・ワークショップタイトル、内容（仮でも可）
- ・対象年齢（学年）
- ・ブース配置（スペース）の希望
- ・ワークショップのタイムスケジュール（仮でも可）
- ・ワークショップに関する注意事項

参考：前回の参加者学年（年齢）分布



～お問い合わせ先～

モノづくり体感スタジアム事務局 担当：多田

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1（日刊工業新聞社内）

Tel.03-5644-7608 / Fax.03-5644-7209

E-mail : kenji.tada@nikkan.press

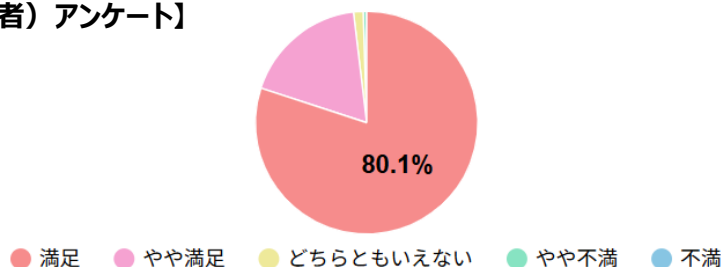


付録資料：前回実績（2025年夏）

- 会期・場所：2025年8月23日（土）～24日（日） 科学技術館 展示・イベントホール
- 出展者数：20社・団体、23ワークショップ（2024年開催時：12社・団体）
（事前予約、一部当日受付）
- プログラム参加者数：のべ1,127人（お子さま、2024年開催時：のべ810人） ※期間中合計

命を吹き込め！キーホルダー作りで金型体験！	富士ダイス
アップサイクル名札工房＆なおスト★リペアLIVEショー！	日立製作所
ロボットハンド&缶バッジの製作	オプテックス工業
かなガッタくんの成形教室	ユウワ
電気と磁石のふしぎ体験～音、光、熱、力～	日立理科クラブ
板金モノづくり体験！ペン立てとオリジナルチャームをつくろう	アマダ
カワサキロボットエンジニアになろう！	川崎重工業
手作りロボット教室	安川電機
こども「ちよぼきんばこ」製作教室	野火止製作所
見えないけれどすごい、空気の色を体感！	SMC
親子で学ぼう、化学のフシギ！工業用接着剤でペン立てづくり！	スリーボンド
3Dプリンターで「つくって」「あそんで」体験しよう！	ティーケーエンジニアリング
超かんたんモーターを作ろう！	三菱電機
超硬工具（ちょうこうこうぐ）のことを学びながら粘土でキーホルダーをつくろう！	MOLDINO
きさげ作業に挑戦！手作業で仕上げる“世界にひとつ”の文鎮	ヤマザキマザック
スイミーもびつり！金魚すくいゲーム！	
ゲーム中でお祭り体験！おぼけやしき&射的	
Scratchでロボットを動かそう！	産業能率大学 北川ゼミ
ロボットQumcumでプログラミング	
リサイクルのための自動分別ごみ箱をつくろう	THK
鋳物（いもの）キーホルダーを作ろう！	コマツ
ロボットクラフト工作（エンジニア塾出張授業）	日本機械学会
電気を「つないで」EVカーを走らせよう！	日本航空電子工業

【参加者（保護者）アンケート】



【参加者（保護者）の主なコメント】

- 去年も参加しました！子供と一緒にいろいろな体験ができたり、いろいろな会社を知れてとても勉強になります！また参加したいです！
- 大変面白い取り組みだと思います。子どもたちものづくりにふれてよかった、ああだったと話してくれた。表情がとても輝いていたのが印象的でした。
- ほんとうに素敵なイベントでした。子供が夏休みの中で一番楽しいワークショップだったと言っていました。他のワークショップもとても楽しそうでしたし、参加したワークショップもたくさんの学びと楽しさがありました。
- 初めて参加しましたが、無料でここまで楽しませて頂け、とても感謝しています。子供には馴染みがない会社様も、大人では設備関係で実は利用している製品があったりなど、興味深く参加させていただきました。来年も、是非参加させて頂ければと思います。
- 小学校の工作とは異なり、ダイナミックなものを作成できるので、とても満足です。少しでも子どもの知識になったと思います。毎回の開催ありがとうございます。

【過去の開催の様子】

下記URLよりご参照ください。また、PR動画も公開中です。

>> https://mono-stu.jp/s_past/past.php?param=2025_0_1

